

リーディングDXスクール事業【実践事例】

新地町立福田小学校（福島県）【指定校】

【取組内容②】低学年から系統的に情報活用能力を育成するための「年間計画の活用」

令和5年度

新地町立福田小学校 情報活用能力育成 年間計画

情報活用能力育成の重点目標

③ 問題解決的な学習で、情報収集と選択、読み取りとまとめ、発表などの活動を通して、活動スキル及び探究スキルの向上を目指す。

第1学年

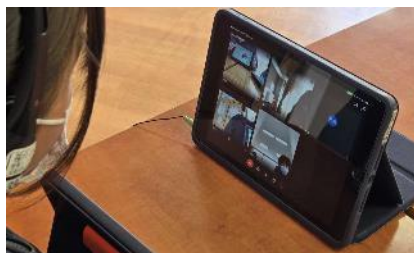
	学習目標	学習内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
活動スキル	情報を集めたり、発信したりする際、手段の特性を意識して活用することができる。	① 情報の収集・編集 ② ウェブ検索 ③ インタビュー ④ アンケート ⑤ メモ ⑥ 口頭発表		【生活】A1-A5 「ともだちがっこうをたんけんしよう」	【算数】A2 「ぜんぶでいくつ」		【国語】A1「ごちそうパーティーしよう」	【算数】A2 「3つのかずのけいさん」		【生活】A1-A2(D4) 「じぶんでできるよ」	【生活】A1-A2(D4) 「ふゆをたのしもう」		
探究スキル	情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。	① 情報の収集 ② 情報の分類 ③ 情報の関係付け ④ 問題解決の手順 ⑤ 試行錯誤 ⑥ データの傾向 ⑦ 情報技術の発表		【生活】A1 「きれいにきてね」		【算数】A2 「のこりはいくつ」	【国語】A1「カラフルいろみず」	【国語】A1「はこでつづけたう」				【生活】A1-A2(D4) 「あたらしいねんせいをしようたいしよう」	
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に関連付けて考えることができる。	① コンピュータのしくみ ② 情報の分類 ③ 情報の関係付け ④ 問題解決の手順 ⑤ 試行錯誤 ⑥ データの傾向 ⑦ 情報技術の発表								【生活】B8(A2) 「たのしいあそびいっぱい」			【体育】B8(A1) 「多様な動きをよる運動遊び」
情報モラル	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。	① コミュニケーション ② 法と権利 ③ 健康と安全 ④ ルール・マナー ⑤ セキュリティ ⑥ 個人情報 ⑦ 情報社会の将来		【国語】C4 「なんいていおうかな」				【音楽】C5 「どれみどなかなよくなるう」					
								【学習】D4-C5 「コンピュータとなかよ」					
							【道徳】D4 「みんなでアソビながらつづけてあそぶ」	【道徳】D4 「みんなでアソビながらつづけてあそぶ」				【学習】D4 「コンピュータとなかよ」	

低学年からの系統的な情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図るために、各学年毎に年間計画を作成し、活用している。情報活用能力を4つのスキル（活動スキル、探究スキル、プログラミング、情報モラル）に分け、教科名・単元名を明記しており、学年ごとに確認し、教科横断的な指導ができるようにしている。毎年各学年で見直し、新たな実践等を加筆修正することで、個人の実践にとどまらず、使用した教材等を学校全体で共有し、次年度以降も持続可能な形で実践できるようにしている。

今年度追加した実践
6年生【外国語】「My best memory」

新地町内3校の6年生をつないで小学校での思い出を互いに発表した。

低学年から継続して情報活用能力の育成を図ってきいていることもあり、相手意識をもち、伝わりやすくなるように表現を工夫して発表するだけでなく、受け手としてどんな態度でコミュニケーションを図っていけばよいかを考えながら活動を行うことができていた。



第6学年

	学習目標	学習内容	1月	2月	3月
活動スキル	情報を集めたり、発信したりする際、手段の特性を意識して活用することができる。	A1 記録と編集 A2 P.Cの操作 A3 ウェブ検索 A4 図書利用 A5 インタビュー A6 アンケート A7 メモ A8 口頭発表			
探究スキル	情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。	B1 取捨選択 B2 読み取り B3 創造 B4 伝達内容の構成 B5 表現の工夫 B6 受け手の意識 B7 学習計画 B8 評価と改善	【理科】B7 「水溶液の性質とはたらき」	【体育】B8(A1) 「多様な動きをつくる運動遊び」	
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に関連付けて考えることができる。	C1 物事の分解 C2 情報の分類 C3 情報の関係付け C4 問題解決の手順 C5 試行錯誤 C6 データの傾向 C7 情報技術の発表		【理科】C4 「地球に生きる」	【総合】C1～C7 「プログラミング」
情報モラル	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。	D1 コミュニケーション D2 法と権利 D3 健康と安全 D4 ルール・マナー D5 セキュリティ D6 個人情報 D7 情報社会の将来	【外国語】D1・D4 B4～6 「My best memory」	【道徳】D2・D4 「かがやく命」	【体育】D3 「病気の予防」